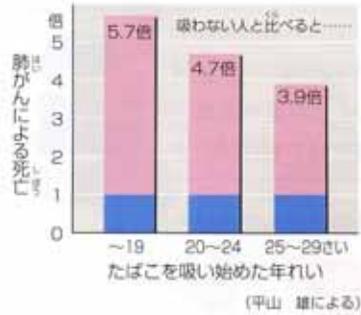


保健の中での 学習

●たばこを吸い始めた時期が早いほど害が大きい



未成年者のたばこが法律で禁止されているのは、なぜかな？



近くでたばこを吸われると、目やのどが痛いよね。

発育期は、たばこのえいしょうを強く受けます。また、吸い始めた時期が早く、吸っている期間が長いほど、がんや心臓病などにかかりやすくなります。

たばこを吸う人がはくけむりや、たばこの先から出るけむりにも、有害物質がたくさんふくまれています。たばこは、周りの人にも害があるのです。



喫煙を制限している場所が増えてきています。どんな場所がそうになっているでしょうか。



外での喫煙を禁止しているところ (東京都千代田区)



決められた場所だけで吸えるようにしているところ (空港のロビー)



たばこの「ポイ捨て」を禁止しているところ (兵庫県神戸市)

どんな場所が禁煙になるとよいかについても考えてみましょう。



やってみよう インタビューしてみよう

たばこを吸わない人や、やめた人にインタビューをしてみましょう。

●インタビュー内容の例

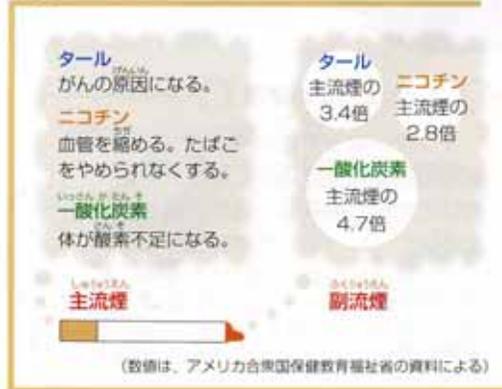
- ・たばこの害
- ・たばこを吸わない理由
- ・たばこを吸おうとしている子どもへの意見



○たばこをすすめられたとき、どうすればよいか、考えてみましょう。(→p.40参照。)



たばこのけむりの中の有害物質の例



- タール
- ニコチン
- 一酸化炭素



たばこを吸う人が吸いこむけむりを主流煙、たばこの先から出るけむりを副流煙、たばこを吸わない人がこれらのけむりを吸うことを受動喫煙といいます。